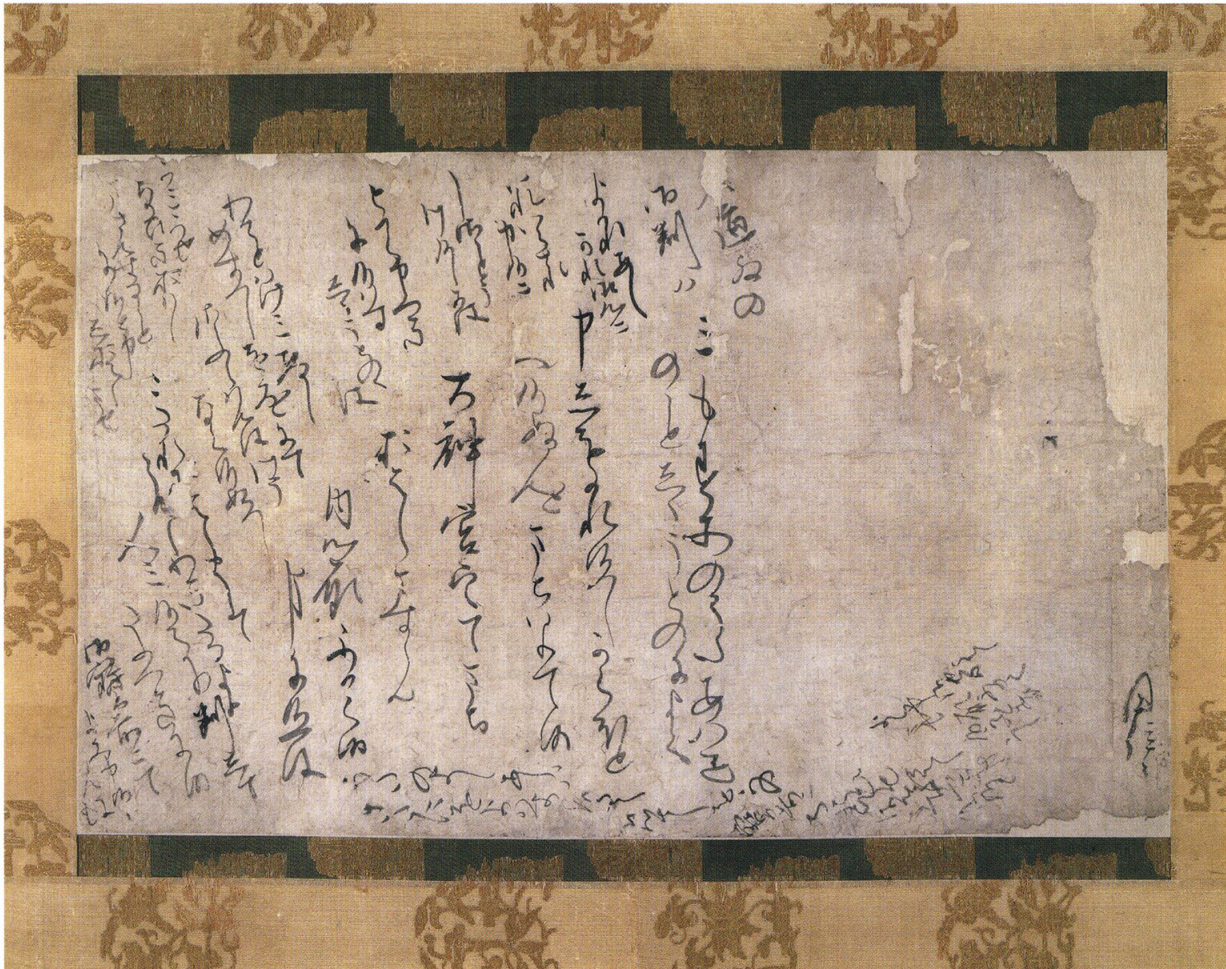


10. 西行書状



西行書状 西行

1幅
紙本墨書
本紙30.3×48.3 総112.4×59.6
平安時代(12世紀)

西行(1118~90)晩年の仮名書状。差出所に円位とあって西行出家後の手紙である。内容は西行自作の『御裳濯河歌合』と『宮河歌合』の判詞を俊成、定家に依頼し、その催促にかかわるもの。明治11年近衛家献上。

Letter By Saigyō

Hanging scroll
ink on paper
30.3×48.3
Heian period, 12th century

A letter written in *kana* by Saigyō (1118-90) in his latter years. The term "en'i" shows that it was written after Saigyō became a priest. It is a letter to remind Fujiwara no Toshinari and Sadaie for their evaluation words considering Saigyō's two poems. In 1878, it was presented to the Court from the Konoe family.

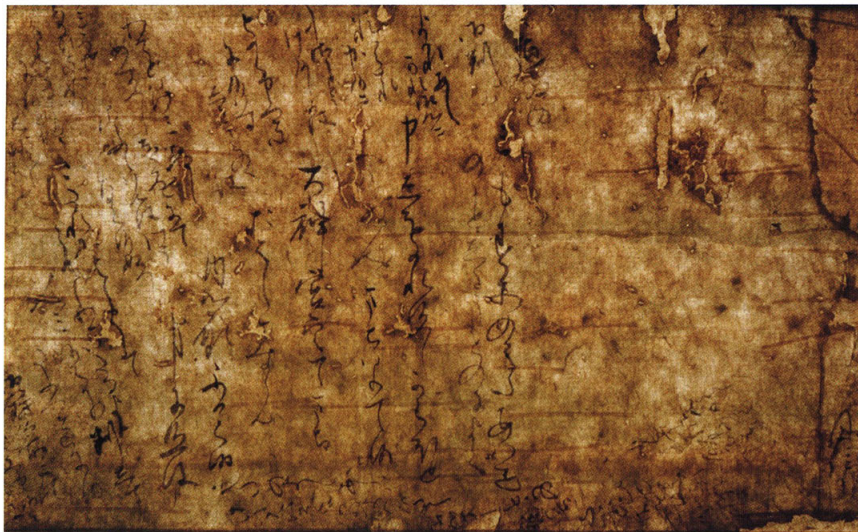
名筆の修理

歌人として知られる西行の自筆による仮名散らし書き形式の書状で、数少ない確実な作品として、収蔵品の中でも著名な名品の一つである。しかし、本紙の汚損、本紙と裏打紙との剥離など、脆弱化が目立つ作品でもあった。

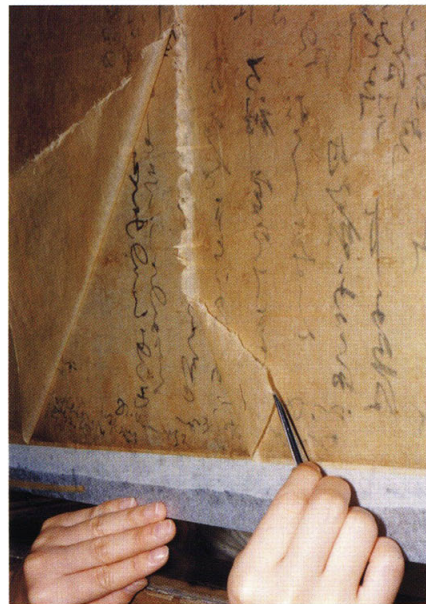
修理では、旧裏打紙、及び旧補紙を除去した後、本紙の汚れを慎重に除去し、本紙欠失箇所にも本紙と類似した補修紙にて補紙を施し、本紙の色調に合わせて染色した薄美濃紙にて肌裏を打った。また、再用する表装裂地も旧裏打紙を除去した後、薄美濃紙にて肌裏打を施し、さらに本紙、及び裂地ともに増裏打を行い、折れ伏せによる補強補修を施す。そして旧軸装の通りの付け廻しを行い、総裏打を行って元の象牙軸を取り付け、新たに太巻芯を装着して作品の保護を図った。修理としては、最もオーソドックスな修理であるが、過去にも数回、同様の修理が行われ、それが百年、二百年のサイクルで繰り返されることで、こうした貴重な作品は伝来してきた。そうした意味でも、可能な限り、現状を出来るだけそのまま残し伝えることが、古い時代の作品についての修理の基

本的な考え方である。それに従って行われた本修理では、表装裂や旧軸を再用し、修理前と、その姿が大きく変わるものではない。

しかし、修理の際に行った調査で、詳細な損傷状況が把握でき、またそれを記録に残して伝えることで、今後の作品の保存と活用の指針が明確となったことは、作品を伝えていく中では最も重要なことである。過去に修理が幾度か行われている紙本の作品は、その多くが相剥ぎされている。本作品も例外ではなく、修理中に行った透過光による調査でも、相剥ぎによる紙の厚さの斑が多いことが確認出来た。つまり、本紙の厚さが一定ではない、表面が平らにはならない、ということである。ほんのわずかな段差ではあるが、掛幅装という形態で開閉を繰り返す負担が、800年以上もの時を劣化しながらも耐えてきた紙には敏感に伝わる。そのため、出来るだけ、一定の厚さが保てるよう、本紙が薄い箇所には薄い美柄紙で部分補修をするなどの処置をした。



裏打除去後の本紙の状態（透過光）
相剥ぎによる紙の厚さの斑がわかる。



裏打紙の除去作業の様子

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

開館20周年記念
美を伝えゆく 一名品にみる20年の歩み—

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成25年10月12日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections, Japan

The 20th Anniversary Exhibition of the Sannomaru Shozokan
Passing Art works to the Future –The Museum's 20 Years of Research on Masterpieces–

Edited by the Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan

Produced by Tokyo Bijutsu Inc.

Translated by Hiroko Kurokawa

Published by Imperial Household Agency

Issued on October 12, 2013

© 2013, The Museum of the Imperial Collections, Japan